

# 令和7年度 後期 保護者アンケート 集計結果と考察



児童



PTA



教員



家庭・  
地域

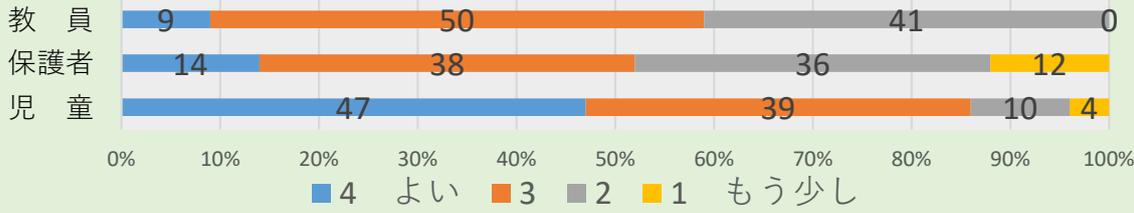


旭川市立永山西小学校

令和8年1月27日

『重点目標1 目的や条件を理解し、深く考える力の育成』に関する結果

評価指標① 児童は、課題の解決に向けて、集中して自分で考え、自分から進んで取り組んでいるか。

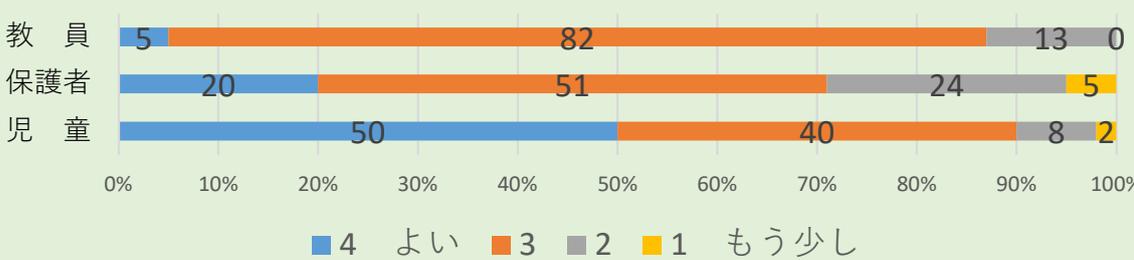


保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
47%	52%	+5

「4+3」の数値肯定的に答えている割合になります

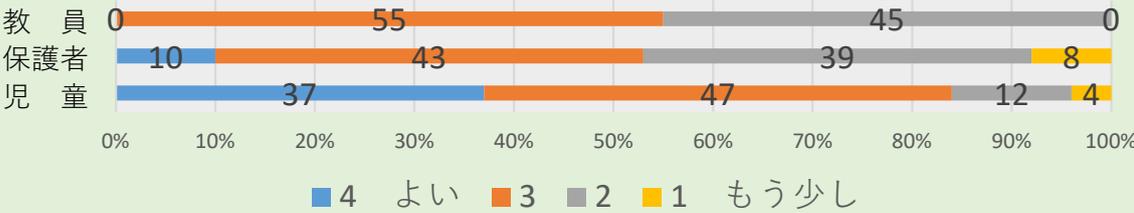
評価指標② 児童は、基礎的・基本的な学習内容を理解しているか。



保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
65%	71%	+6

評価指標③ 児童は、自分の考えを表現する機会、条件や目的を意識して考えが上手く伝わるよう工夫して表現しているか。

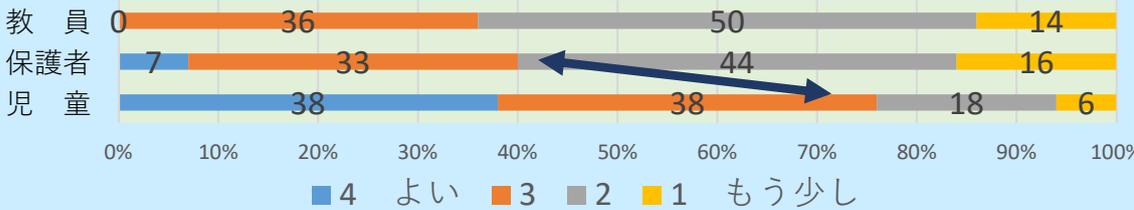


保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
47%	53%	+6

青枠は課題項目

評価指標④ 児童は、分かった点やよく分からなかった点を見直し、家庭学習につなげることができているか。



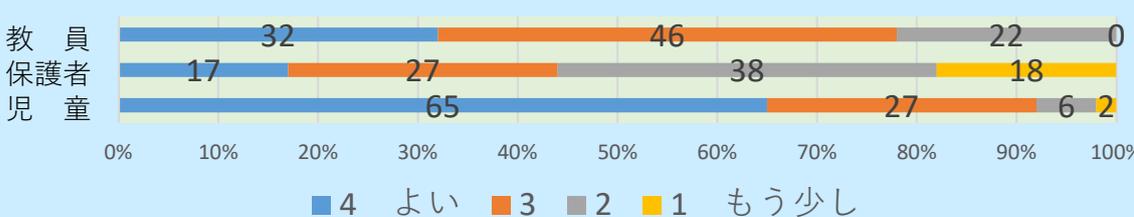
保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
41%	40%	-1

児童「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
73%	76%	+3

評価指標⑤ 児童は、ICT機器を目的や条件に合わせて効果的に活用できているか。〈保護者 ICT機器などを時間やルールを守って使っていますか〉



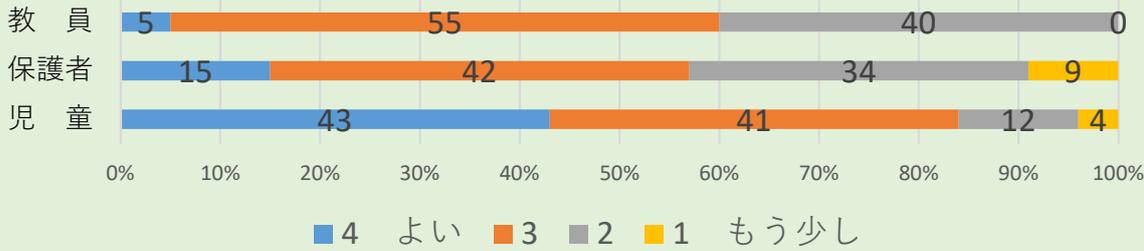
保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
43%	44%	+1

【考察】 目標1については、「基礎的・基本的な学習内容の理解」を年度の重点内容として取り組んでいます。保護者の肯定的回答が71%となり、前期より6p向上しています。また、児童、教員共に87%以上となっています。今後も子どもたちが「基礎的・基本的な学習内容を理解している」を目指して、特に「学習への主体性」と「思考力・判断力・表現力」の育成を重視しながら「ねらい（育てたい資質・能力）を明確にした授業づくり」を推進していきます。「家庭学習の取組」は保護者の肯定的回答が40%であり、児童も76%となっています。改めて授業と連動した家庭学習を重視していきます。

※「ICT機器などの時間やルールを守っているか」については4ページ目で説明しています。

## 評価指標① 児童は正しい言葉づかいをしているか。

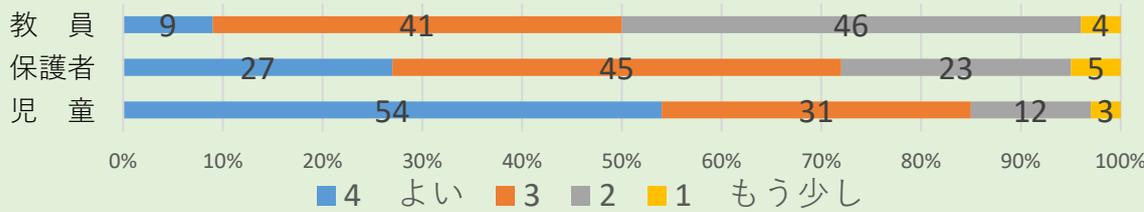


## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
57%	57%	±0

「4+3」の数値肯定的に答えている割合になります

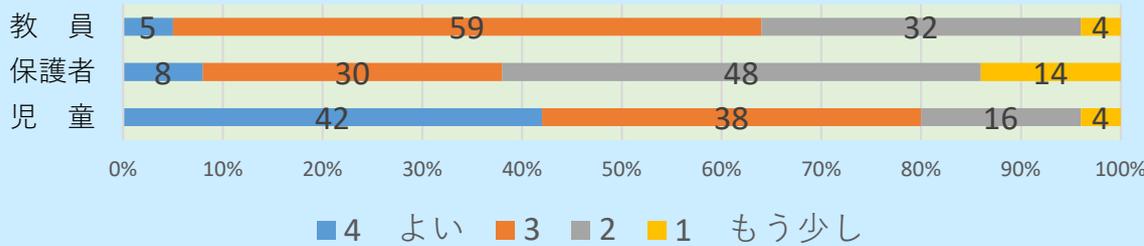
## 評価指標② 相手の目を見て挨拶ができているか。



## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
69%	72%	+3

## 評価指標③ 立腰の姿勢で教育活動に取り組んでいるか。

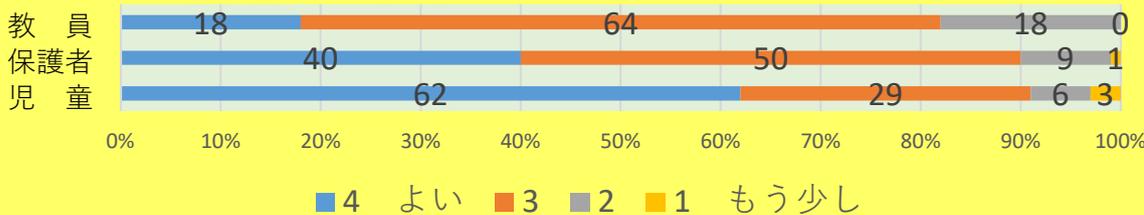


## 青枠は課題項目

## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
40%	38%	-2

## 評価指標④ 友達と協力し、思いやりの気持ちをもって教育活動に取り組んでいるか。



## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
89%	90%	+1

## 赤枠は成果項目

## 評価指標⑤ 読書に親しみ、読書習慣が身に付いているか。

〈保護者への質問内容：おさんは、学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。〉

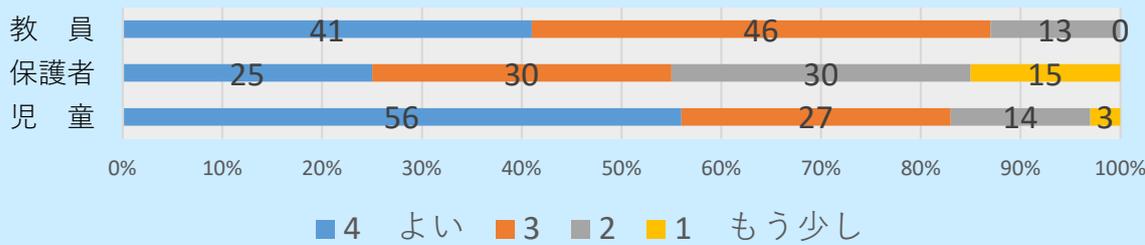


この項目では保護者の方に具体的な読書時間をお答えいただきました。

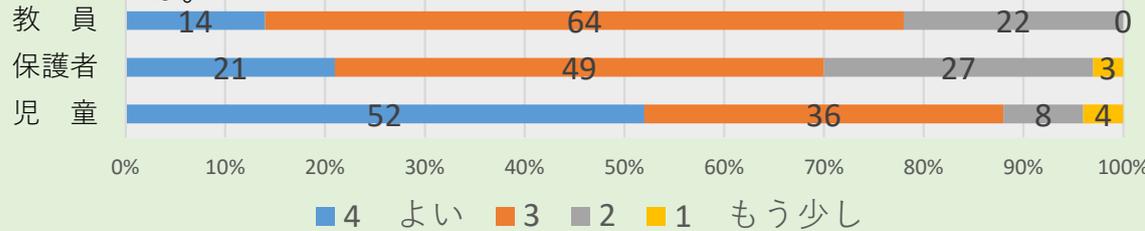
【考察】 「協力・思いやり」の肯定的回答は保護者、児童が90%、教員も80%以上という結果です。「言葉づかい」「協力・思いやり」の2つを軸として様々な教育活動を推進した成果だと考えます。今後も「お手本になる(教員・高学年)」「お手本をまねる(全学年)」を重視し、生活基盤の向上を推進していきます。

「姿勢」に関する項目が38% (前期比-2p) になっています。場に応じた姿勢や集中できる姿勢を「自ら判断し、実行できる力」の育成を重視していきます。

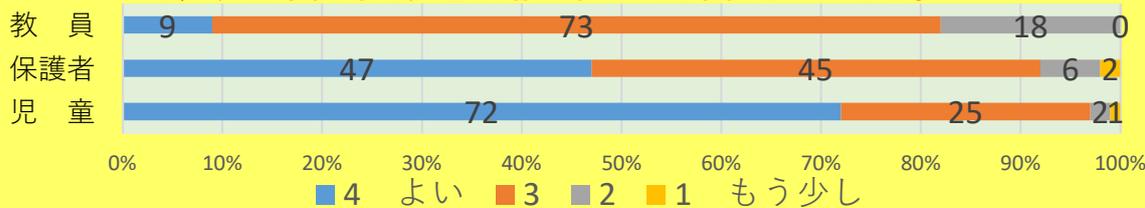
## 評価指標① 児童は、進んで体力づくりに取り組んでいるか。



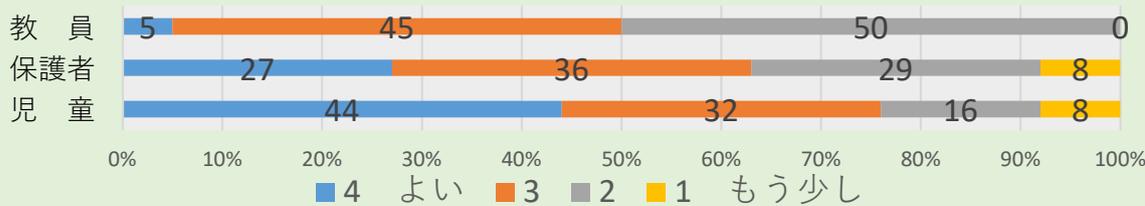
## 評価指標② 児童は、きまりを守って、規則正しい生活をしているか。



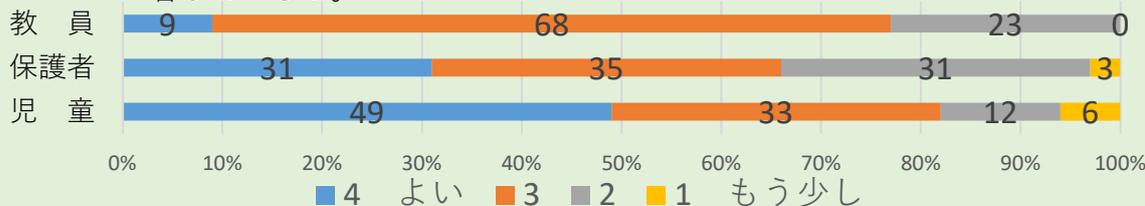
## 評価指標③ 児童は、交通ルール（合言葉「とまと」よく見る）、登下校時刻、通学路を守って登下校しているか。



## 評価指標④ 児童は、自分の健康について考え、好き嫌いしないで給食を食べているか。



## 評価指標⑤ 児童に、基本的な生活習慣（早寝早起き朝ご飯）は定着しているか。



## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
60%	55%	-5

## 青枠は課題項目

「4+3」の数値肯定的に答えている割合になります

## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
74%	70%	-4

## 赤枠は成果項目

## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
89%	92%	+3

## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
63%	63%	±0

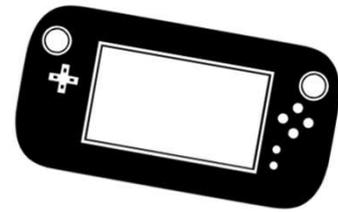
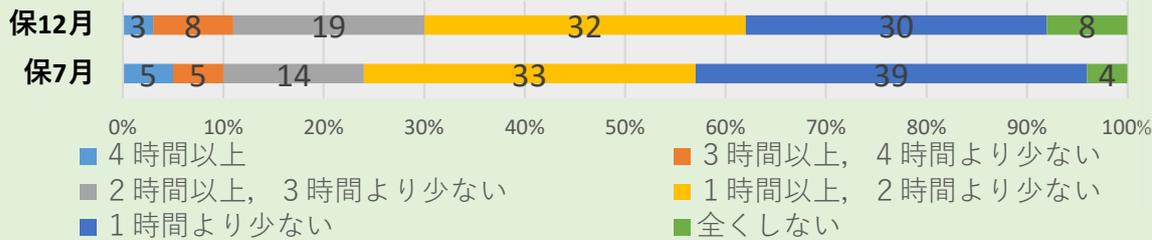
## 保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
72%	66%	-6

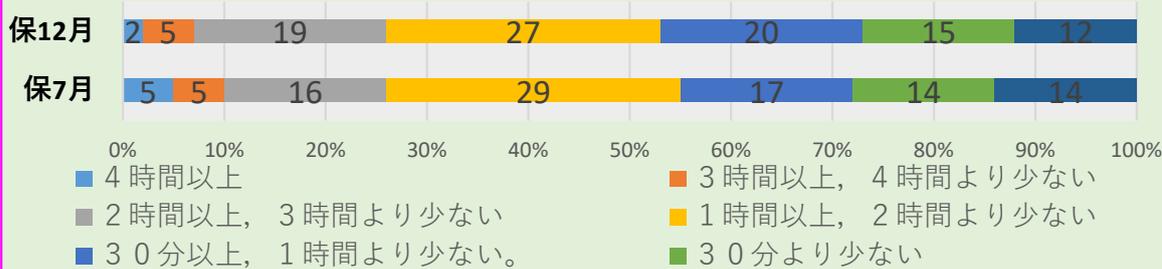
【考察】 「交通安全」は肯定的回答が保護者90%以上（前期比+3P）という高い結果となりました。「西っ子見守り隊」の皆様による登下校見守り活動、学校における日常的な交通安全指導、各家庭においても交通安全に気を付けるよう声を掛けていただいている成果だと考えます。

「体力づくり」については肯定的回答が55%（前期比-2p）となりました。グラウンドが使えない中ではありますが、子どもたちの実態に応じて「走の運動」を重視した体育の授業改善や中・昼休みに「走の運動」につながる運動機会の確保を継続しています。限られた環境の中でも「進んで運動する」「工夫して運動する」態度の育成を今後も重視していきます。

お子さんは、普段、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか。



お子さんは、普段、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除きます)。



「4+3」の数値肯定的に答えている割合になります

保護者「4+3」の割合 前後期比較

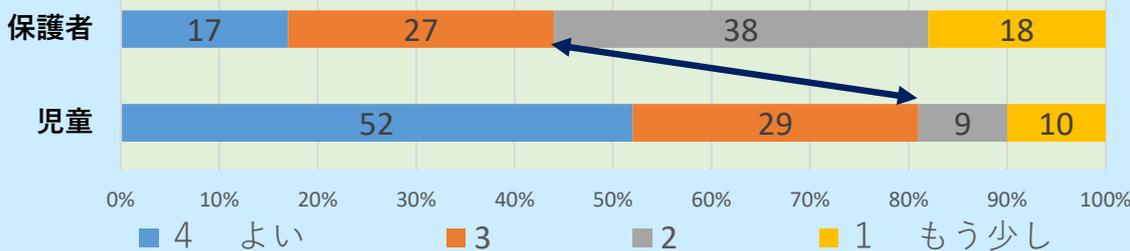
7月	12月	変化
41%	44%	+3

7月	12月	変化
79%	81%	+2

児童「4+3」の割合 前後期比較

あなたは、おうちでゲーム機、スマートフォン、タブレットなどを時間やルールを守って使っていますか。

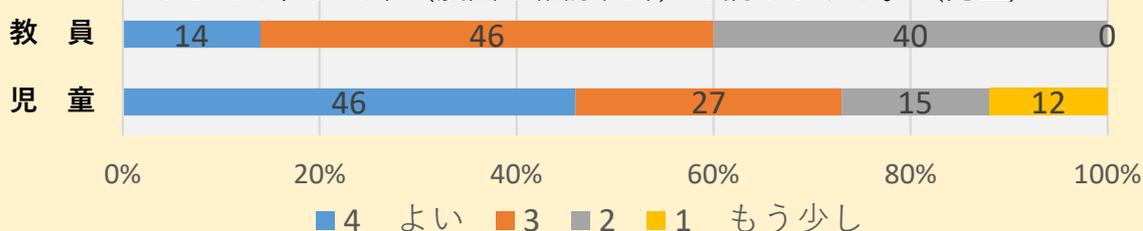


【考察】 「ゲーム機、スマホ、タブレットなどの時間やルールを守って使っていますか」の問いに対しては、保護者44%に対して児童は81%と、肯定的回答の割合に大きな違い(37p差)が見られます。また、「SNSや動画視聴する時間が1時間以上」の児童が50%以上となっています。多くの御家庭がゲームやインターネットの使用についてルールを設けていると思いますが、改めて、**自宅でのゲーム機や情報機器について、「どのように利用するか」をお子さんと話し合ってみてください**(令和7年12月25日配付の「学校だより」の内容も参考にしてください)。

下記のグラフは「読書習慣」に関する教員と児童のアンケート結果です。どちらも肯定的回答が80%を下回っていますが、保護者アンケートでは「10分以上読書する」という割合が向上しています(2ページ参照)。**情報機器の使用時間を減らして読書の時間を増やすことは学力向上や生活習慣向上にもつながると考えます。**冬休みのビブリオバトルの取組を今後の読書習慣向上に活かしていきます。今後も学校と家庭で共に、**読書習慣の向上**に努めていきたいと考えます。

児童は、読書に親しみ、読書習慣が身に付いているか。(教員)

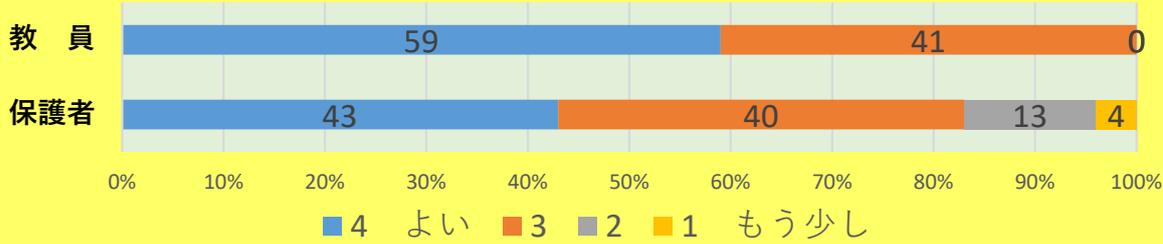
あなたは、よく本(漫画や雑誌以外)を読みますか。(児童)



## 「家庭、地域との連携」に関する結果

## 赤枠は成果項目

学校は、学年・学級通信、学校だより、連絡メール、学校ホームページ等で教育活動の様子や必要な連絡事項を保護者に伝えていますか。

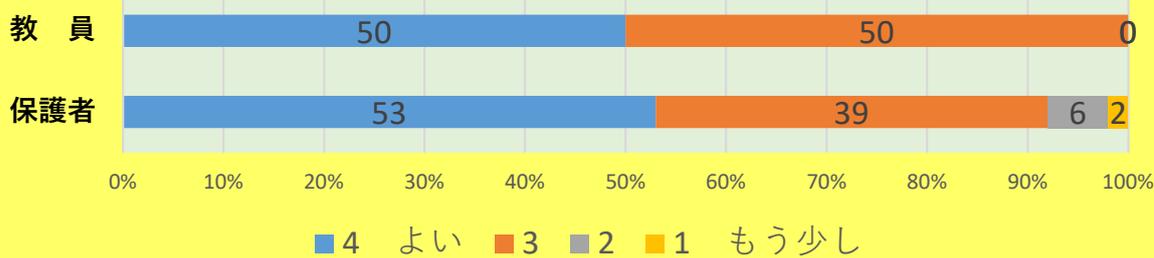


保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
89%	83%	-6

「4+3」の数値肯定的に答えている割合になります

学校は、学習発表会等の学校行事や参観日、個人懇談などを通して子どもたちの様子を保護者に伝えていますか。



保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
94%	92%	-2



学校は、朝の交通安全指導をはじめ、PTA活動を通して、保護者と協力して教育活動を推進していますか。

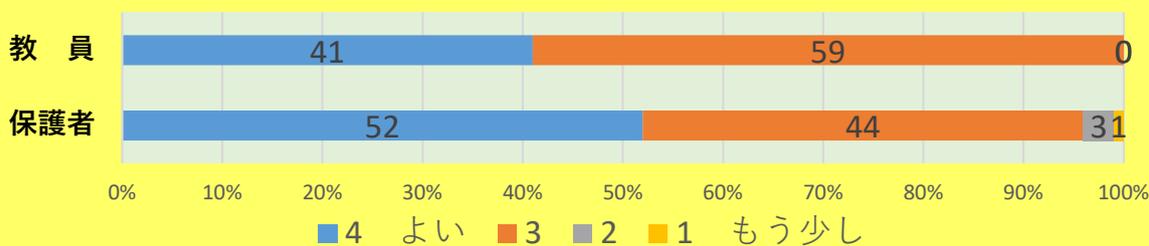


保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
98%	95%	-3



学校は、様々な学習活動や行事などを通して、地域と共に連携・協力しながら教育活動を推進していますか。



保護者「4+3」の割合 前後期比較

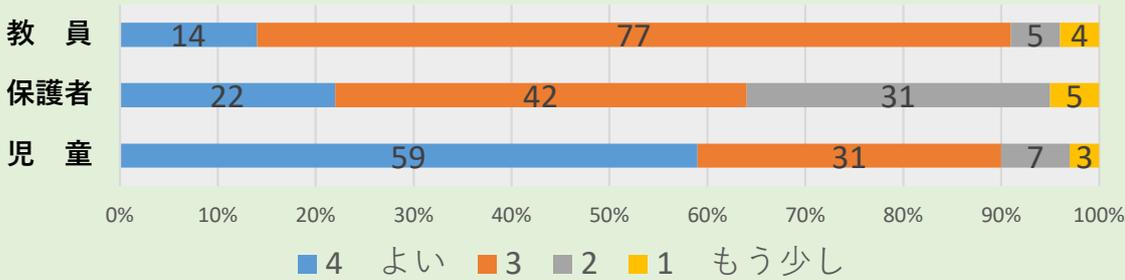
7月	12月	変化
97%	96%	-1



【考察】「情報発信」は83%、「学校行事・参観日」「PTA活動」「地域との連携」の3項目はすべて90%以上という高い結果となりました。『新校舎』での参観日や学習発表会、西っ子ファンタイムグランプリの実施、「西っ子見守り隊」の皆様による学習支援や安全・安心な環境づくりなど、様々な教育活動に保護者や地域の方に参加・御協力をいただいた成果だと考えています。また、マチコミメールを活用した緊急のお願いにも対応していただきありがとうございます。日ごろの学校教育への御理解と御協力を改めて感謝いたします。

今後も学年・学級通信、学校だより、学校ホームページ、マチコミメール等を使ってよりわかりやすい情報発信に努めていきます。学校教育に対してお気付きの点やお子様の様子で気掛かりなことがありましたら、いつでも学校まで御相談ください。

自分の目標や夢をもってがんばっているか。

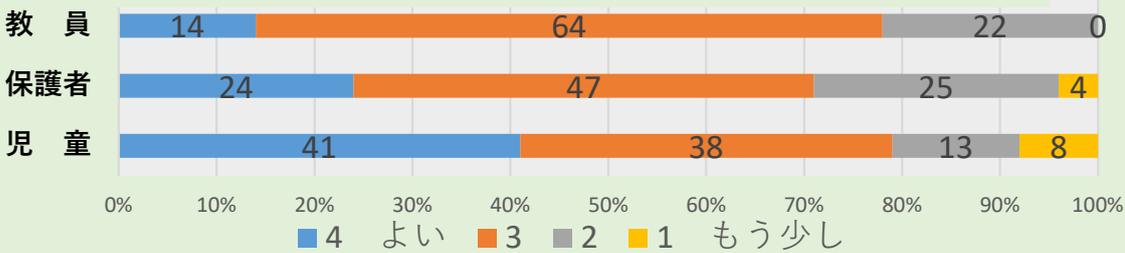


保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
67%	64%	-3

「4+3」の数値肯定的に答えている割合になります

「自分にはよいところがある」など、自分自身を認める思い（自己有用感）をもっているか。



保護者「4+3」の割合 前後期比較

7月	12月	変化
72%	71%	-1

【考察】 学校目標「夢をもってがんばる子ども」に対しては64%（前期比-3）という結果となりましたが、**児童は90%**が肯定的に答えています。様々な活動において「目標設定とその振り返り」を行う中で、取組の過程を重視することや自己の成長や達成感を実感できるようにしてきた成果だと考えています。今後も目標（夢）をもってがんばることの大切さを指導していきます。

「自己有用感」に関しては71%、児童と教員も80%以下という結果となりました。今後も子どもたちが「活躍できる場面」や「力を発揮できる場面」などを設定し、**「役に立てた」「認められた」という経験から、「自己有用感」を高めていきます。各御家庭でもお子さんのがんばりを認める声掛けを継続してください。**

## 「記述欄」に関して

アンケートへの御協力ありがとうございました。頂戴いたしました御意見を真摯に受け止め、西っ子のよりよい成長のために、今後も学校経営の改善を推進できるようにしたいと考えています。また、前期同様に教職員・学校への励まし・感謝のお言葉も多く、教職員一同、大きな励みとさせていただいております。

お寄せいただいた御意見を、今後の諸会議や各係・学年等の打合せの中で検討していきます。多角的な視点から検討し、見直しが必要な事柄については、改善が図れるように努めていきます。

また、見直しや改善を図ったことについては、その都度、保護者の皆様に「学校だより」などを通じて、お知らせしていきたいと考えています。

今回頂いた御意見内容

- 学習発表会の保護者入場方法・観覧席について ○学習発表会の内容について ○行事の開催日程について
- 家庭学習について ○西っ子ファンタイムグランプリについて ○PTA学習支援活動について
- 参観日について ○教育活動への感謝について

複数の方から御意見・御感想いただいた点に絞って記述欄への回答をさせていただきます。また、個人が特定されないよう、係で一部文言の修正をさせていただきます。御承知おきください。なお、今回の回答としていない事柄も含め、個人的な回答を必要とされる場合は学校（48-1042 担当：花本）まで御連絡ください。

### ～記述欄より～ 「学習発表会」について

〈回答〉本校の学習発表会は、目標を下記の2点として実施しています。

- ①日常の学習の成果の総合的な発表の場として学習発表会を実施し、学校生活をより豊かなものにする。
- ②児童中心の活動を大切に、集団への所属感を高め、相手意識を育てる。

実施後に行った児童アンケートでは、「成功体験による喜び」や「強い満足感」が伝わる記述内容が多くありました。

今後も「学習発表会」については、『学習したことの発表（各教科の内容）』を基本（6年生については卒業記念発表会として位置付け、総合演劇の場合もある）としながら、目標としている「子どもたちの成長」を重視していきます。また、子どもたちの実態や各教科の授業時数等との関連も考慮して発表内容を検討し、各教科の授業内容や時数に影響するような過度な準備や練習時間を必要とすることが無いように配慮しながら実施していきたいと考えています。どうぞ、御理解と御協力をお願いいたします。